

資源循環ワーキンググループの設置等について

2023年2月10日 第8回持続可能な調達ワーキンググループ

公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会
企画局 持続可能性部



資源循環ワーキンググループ°の設置について

趣旨・目的

- 大阪・関西万博において、持続可能な万博の運営を目指すとともに、地球環境問題への新たな挑戦の形を世界に示していくにあたって、資源循環に関する基本的な考え方や具体的取組内容等について、専門的視点から議論・検討を行う。
- 当面、脱炭素や資源循環に関して目指すべき方向性や具体的な対策などを取りまとめた「EXPO 2025 グリーンビジョン」の改定や資源循環に関する具体的な取組内容について議論・検討を行う予定。

資源循環に係る対応の方向性に関する今後の検討について

- 前回までの調達WGにおいては、大阪・関西万博の運営における資源循環に係る対応の方向性（案）についてご意見をいただき、その後、資源循環に係る対応の方向性（案）に即して、大阪・関西万博に参加する関係者等に対して基準等として示すべき事項について、調達WGにおいてご議論をお願いする予定としていたところ。
- このたび、新たに資源循環WGを設置することとしたことに伴い、今後、資源循環に係る対応の方向性に関しては、調達WGにおいていただいたご意見を引き継ぎ、資源循環WGにおいて議論・検討を行うこととしたい。

資源循環に係る対応の方向性（案）に関するこれまでの主な意見（1/2）

大阪・関西万博の運営における資源循環に係る対応の方向性（案）に関して前回までの調達WGにおいて委員からいただいた主な意見は次のとおり。

第3回調達WGにおける意見

- 一般の方々のイメージとしては、大阪・関西万博の開催が終わった後にばりばりと壊して産業廃棄物が出て、それをトラックが運んで外に持って行くというのは、非常にわかりやすく、無駄にしてもったいないことしているのではないかなとなる。終了後、基本的には全部更地に戻すので、非常に課題はある。そこが一番目立つし、この時代に即していると思われない。これを今から考えるとしても、リユースを意識して材料などを調達しないといけないわけなので、急いで対応しなければいけないと思う。今から企業や特に海外パビリオンが自ら探すのは大変なので、例えば博覧会協会が窓口を作っていわゆるリユースを求める人を募集して斡旋するなどしないと難しいのではないかという気がする。
- 国際的なイベントを実施して発信するときに、いかに環境だけではない持続可能性に配慮しているかという運営全体の調和を作っていくことは大事。いわゆる調達物品のリユース・リサイクルに関しては早めに動き始めたほうがいいのではないかな。
- パビリオン運営主体がどんなパビリオンを作ってどんな調達をするのかは一定の裁量があると思うが、そこを博覧会協会が働き掛けをしていくのが遅いと難しい。そう考えるとやはり早い段階で、どんなものを調達して、調達したものをリユース・リサイクルしていくためには、エクスペクテーション（期待）を共有するための一定の文章があったほうがいいし、その支援ということも重要。

資源循環に係る対応の方向性（案）に関するこれまでの主な意見（2/2）

大阪・関西万博の運営における資源循環に係る対応の方向性（案）に関して前回までの調達WGにおいて委員からいただいた主な意見は次のとおり。

第7回調達WGにおける意見

- サーキュラーエコノミーや大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを万博会場の中だけでなく、大阪周辺あるいは関西圏でも取り組んで、それが後々日本全体に広がるようなレガシーにつながるような取組ができるといい。
- 海洋プラスチック問題に対し、マイボトルが使用できる環境を整えるなど、具体的なプラスチック削減に向けた議論ができる。
例えば、水道水を提供することはペットボトル削減につながることで、日本は安心して水道水が飲める国であることをPRするいい機会になる。
- 廃棄物を発生させない会場、リデュース・リユースを徹底した会場運営ということを示しておいたほうが社会で関心のある方々にわかりやすい。 廃棄物は極力リサイクルとあるが、その前に分別の徹底というのが非常に大事。分別の徹底とリサイクルとすることを記載するのがいい。
- 使い捨て型のプラスチックは使用しないといった強いリーダーシップをとってもいい。 コーヒーショップなどでリユース型のステンレス製のカップを使用してどこのお店でも返却できるというシステムを導入するなど、新しい暮らし方を提案してもいい。
- 食品ロスはゼロを目指していけるといい。
- ごみの分別について、関西圏の大学生や地域の廃棄物問題に関心のあるNGOと協力しながら推進体制を作っていくことがこれから必要。

持続可能な調達ワーキンググループの今後の開催予定について（案）

2023年度 5～6月頃 第9回調達WG

- ・調達コードの改定案（個別基準追加等）について
- ・通報受付対応（グリーンバンス・メカニズム）について
- ・調達コード遵守状況の確認・モニタリングについて

3月頃 第10回調達WG

2024年度 9月頃 第11回調達WG

3月頃 第12回調達WG

2025年度 7月頃 第13回調達WG

12月頃 第14回調達WG

3月頃 第15回調達WG

